

お知らせ

- ① 秋季彼岸法要とお経の勉強会のお知らせ
- ② 彼岸中日法要塔婆供養について
- ③ 「ついで参り」と「どろぼう参り」?
- ④ 「愛犬観音」「愛猫観音」供養について
- ⑤ お塔婆焼き中止について
- ⑥ ご詠歌の練習日のお知らせ
- ⑦ 施餓鬼法要お礼
- ⑧ 令和7年度十夜法要について
- ⑨ 年間管理費をいただいていないお檀家様へ



ご先祖様を敬い
感謝の気持ちを込めて

どこかで合図が送られているのでしょうか。まるで時期を見計らったかのように、秋のお彼岸には不思議と彼岸花が咲きます。当寺の境内にも真っ赤な花々が咲き誇り、お墓参りに訪れる皆様を静かに出迎えてくれています。お彼岸は、先立たれた大切な方々と心をつなぐ時です。今あるご縁に感謝しながら、お浄土での再会に思いを馳せる大切なご縁の日でもあります。あの真っ赤な夕日が沈む先には、きっとお父様やお母様、そしてご先祖様が、阿弥陀様と共に穏やかな時を過ごしていらっしゃることでしょう。だからこそ、私たちはお念仏をお称えし、阿弥陀様のお名前を呼びながら、供養の心をささげるのです。皆様のお念仏の声は、ご先祖様に届き、またお念仏を称えるお一人お一人を見守ってくださっています。当寺では、毎年恒例の『お彼岸の中日法要』ならびに『お経の勉強会』を、下記の通りお勤めいたします。どうぞご家族お揃いでご先祖様を偲び、感謝の心を捧げましょう。



① 秋季彼岸法要とお経の勉強会のお知らせ

9月23日 これまで未参加の方も是非ご参拝ください

10時より 「お経の勉強会」 客殿2階にて

11時より 「彼岸中日法要」 本堂にて

共に皆様のご先祖様のご供養をお勤めしましょう。



② 彼岸中日法要塔婆供養について

彼岸中日法要の際、ご先祖様の塔婆供養をご希望される方は添付の申込書にてお申込みください。

〈塔婆供養ができるのは生きている間だけ〉

私たち、生ある者はやがては誰もが「極楽へ往生」した後は「塔婆供養」してもらう立場になります。日々私たちは、ご先祖様のお陰で日暮らしを送ることができます。その感謝の気持ちを塔婆供養を通じご先祖様へ伝えましょう。

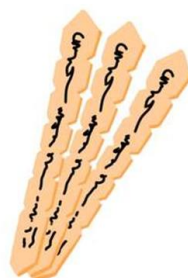
供養日 9/23 11:00~

供養料 4,000円/本

申込締切 9/21 世話人様による申込はありません。

受取方法 1: 中日法要にご参加いただき塔婆をお受け取りいただく。

2: 中日法要後ご都合の良い日にご来寺いただきお受け取りいただく。10:00~17:00



③ 「ついで参り」と「どろぼう参り」？

昔から「〇〇のついでにお墓参りをするのは、ご先祖様に失礼になるからよくない」と言われています。先日、横浜市日吉の天台宗のご住職がお檀家さんとお話しされていました。

「お墓参りだけしてお寺に顔を出さない、本堂にお参りしないのは『どろぼう参り』と言われ、よくないことですよ。

ご先祖様のお墓を日々守ってくださっているのは、お寺のご本尊様、住職です。

だからお盆には『お盆料』、お彼岸には『彼岸料』を「付け届け」として寺務所へ納めることも大切です」と話していました。

私自身もその場で話を聞きながら、「昔からの風習も大切だけど、一番大事なのは“**お墓参りをしよう**”という気持ち」と思いました。

それに加えてぜひお願いしたいのは――。

ご先祖様をお守りくださっている阿弥陀様は、本堂にいらっしゃいます。

お墓参りの時には、どうぞ本堂にも立ち寄っていただき、

阿弥陀様に感謝の気持ちで手を合わせていただければ嬉しく思います。



④ 「愛犬観音」「愛猫観音」供養について

近年、ペット供養に関するお問い合わせを多くいただいております。

法蔵院の「ありがたい碑/ペット供養墓」には、これまでに数多くの大切なご家族であるペットたちが眠っております。

そのうえで「身近に手を合わせて供養したい」とのご要望も多く寄せられ、このたび新たに「愛犬観音」「愛猫観音」をお祀りする準備を整えました。

ご希望の方は、どうぞお気軽にお電話またはLINEにてお問い合わせください。



⑤ お塔婆焼き中止について

例年行っている「お塔婆焼き」ですが、
本年は、8/22 塔婆焼き供養前日に、
当寺へ塔婆を納めている業者が回収しました。
回収した塔婆は業者により適切に焼却されます。
焼却前供養は写真のように勤めました。

当寺では、8/22 新盆の方の白木のお位牌、
閉眼されたお位牌を焼却供養しました。



⑥ ご詠歌練習日のお知らせ 未経験の方も是非ご参加ください

10/24 14:00~

三浦上人/光照寺住職を先生にお迎えして楽しくお稽古しています。



⑦ 御礼：施餓鬼会(せがきえ)無事円成（ぶじえんじょう）

暑い中多くの皆様にご参拝いただいた施餓鬼会は、お世話人様、お檀家の皆様のお力添えとお導きにより、無事円成できました。

今年も、1,200 本以上の塔婆供養勤めました。

衷心より御礼申し上げます。

ありがとうございます。

これからも法蔵院興隆に努めてまいります。

宜しく願い申し上げます。

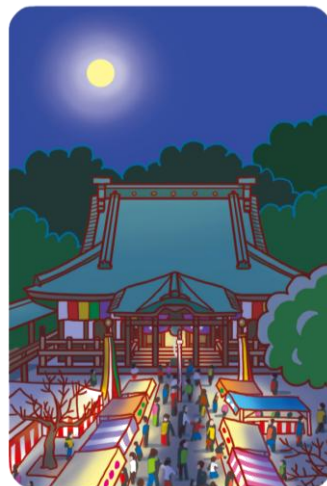


⑧ 令和7年度 十夜法要について

11/8 15:00～ 18:00～

檀信徒皆様でご参拝いただき厳修いたします。

詳細は後日お知らせいたします。



⑨ 年間管理費をいただいていないお檀家様が下記の場合「年間管理費納付」をお願いします

(ア) 墓地修繕された場合

(イ) 世話人様の里から抜けた場合

(ウ) 直系の継承者以外の方に墓地管理の名義変更した場合（他に名義変更料が必要です。）

対象の方には墓地修繕の際、直接お知らせいたします。



彼岸とは ～あちら側の岸、理想の境地を目指すこと～

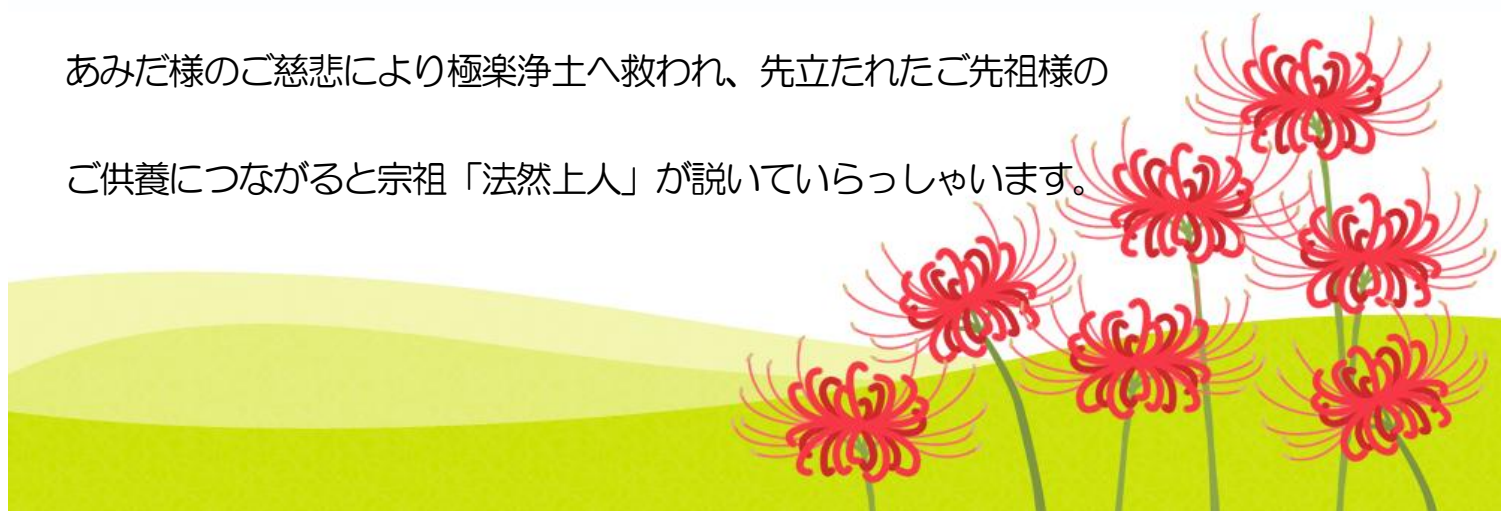
私たちがいるこの世界—欲望や迷いがあふれる「此岸」から、修行を通じてたどり着く
向こう側の世界、つまり生死を超えた悟りの境地（涅槃）を意味します。

日本では古くから、仏教の教えと民間の風習が結びつき、春分（3月）と秋分（9月）
のそれぞれ7日間にわたって「彼岸会」という仏教行事が行われています。

私たちの宗派浄土宗では、「南無阿弥陀仏」とお念仏を唱えることにより

あみだ様のご慈悲により極楽浄土へ救われ、先立たれたご先祖様の

ご供養につながると宗祖「法然上人」が説いていらっしゃいます。



2025.9. 吉日



五劫山法 蔵 院

住職 余郷 有聡

〒239-0843

横須賀市津久井1丁目12-5

電話 046-848-0154

FAX 046-848-4415



ご連絡は電話、LINE どうぞ